

感染症定期報告感染症別文献一覧表 (医療機器 2020/10/1 ~ 2021/3/31)

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	E型肝炎	厚生労働省. https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12695.html	日本赤十字社のヘモビジュランスについて、輸血による感染が特定された事例の推移を報告年、感染症ごとに示している。輸血による感染症、死亡症例が報告されている。
2	H1N1インフルエンザ	Outbreak NewsToday. http://outbreaknewstoday.com/the-netherlands-reports-swine-flu-case-that-occurred-in-2019/	世界保健機関(WHO)の報告によると、2019年9月に発生したヒトでのブタインフルエンザA(H1N1)変異ウイルス感染例1例がオランダから報告された。2019年9月25日にインフルエンザ様疾患を発症した43歳の男性農場労働者で検出されたウイルスの抗原及び遺伝子的特徴は、ユーラシアトリ様インフルエンザA(H1N1)ブタインフルエンザウイルスであることを示した。その農場労働者からのウイルスの全ゲノム配列とブタからの貯蔵されたサンプルはほぼ同一であった。
3	H1N1インフルエンザ	ProMED-mail 20200804.7636630	米国疾病予防管理センターは、2020年7月31日、毎週のインフルエンザの更新版で、Hawaii(米国)の保健当局が、18歳未満の子供でH3N2変異インフルエンザウイルス(H3N2v)感染を報告したと述べた。その患者は、入院せず回復した。ヒトにおけるH3N2vの症状は、季節性インフルエンザに似ており、発熱、咳、鼻水、時には身体の痛み、吐き気、嘔吐、下痢等が含まれる。H3N2vは、健康なヒトに入院を必要とする肺炎のような深刻な病気を引き起こし、場合によっては死に至ることもある。H3N2vに感染した場合に、合併症を発症するリスクが高い人々には、5歳未満の子供、65歳以上の高齢者、妊婦及び喘息、糖尿病、心臓病、免疫系低下、神経学的状態等の特定の慢性疾患のある人が含まれる。
4	H1N1インフルエンザ	ProMED-mail 20201107.7920376	保健医療責任者のDeena Hinshaw博士とアルバータ州の獣医責任者は、2020年11月4日に中央アルバータ州の患者で見つかったインフルエンザA(H1N2)変異ウイルスの症例に関して声明を出した。アルバータ州の公衆衛生及び農業当局は、2020年10月アルバータ州中部の患者で、ブタインフルエンザの亜種が、カナダで初めて検出された後、調査を行っている。
5	H1N1インフルエンザ	WHO ホームページ. https://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_10_07_2020.pdf?ua=1	2020年7月3日にブタインフルエンザA(H1N1)変異ウイルス感染のヒト症例1例がドイツからWHOへ報告された。2歳の男の子の症例であり、患者は症状発現の2日前にブタ農場を訪れ、ブタと濃厚接触していた。2020年6月22日にヒトでのブタインフルエンザA(H1N2)変異ウイルス感染例1例がブラジルからWHOへ報告された。パラナ州のブタの食肉処理場に勤務する22歳の女性の症例である。
6	H1N1インフルエンザ	Outbreak NewsToday. http://outbreaknewstoday.com/germany-reports-swine-flu-case-in-child-85714/#:~:text=A(H1N1)v%20virus%20from%20Germany%20on%203%20July.&text=Details%20include%20the%20infection%20was,health%20care%20on%209%20June%202020.	WHOは、2020年7月3日にドイツでブタインフルエンザA(H1N1)変異ウイルスに感染した症例1例について報告を受けた。インフルエンザ様の病気を発症した2歳の男の子の症例で、その患者は2020年6月9日に診療を受けた。サンプルは定期的なインフルエンザ様疾患調査の一環として収集され、2020年6月15日に分類不能なインフルエンザAウイルスが検出された。全ゲノム配列決定により、このウイルスは2020年7月1日にユーラシアのトリ様のブタA(H1N1)ウイルス(1C.2.2)として特徴付けられた。

ID	感染症(PT)	出典	概要
7	H1N1インフルエンザ	Outbreak NewsToday. http://outbreaknewstoday.com/brazil-h1n2v-influenza-case-reported-in-parana-state-94111/	WHOのレポートによると、インフルエンザA(H1N2)変異ウイルス(A(H1N2)v)によるヒト感染がブラジル人で報告されている。患者は22歳の女性で、併存症はなく、パラナ州Ibipora市のブタの食肉処理場で働いており、2020年4月12日にインフルエンザ様の病気を発症した。現在までに、A(H1N2)vの26例が、2005年以来WHOに報告されており、うち2例はブラジルからである。症例のほとんどは軽度の病気を呈しており、ヒトからヒトへの感染の証拠は認められていない。
8	H1N1インフルエンザ	Outbreak NewsToday. http://outbreaknewstoday.com/parana-state-reports-2nd-h1n2v-influenza-case-79547/	2020年7月の報告に続いて、保健当局はパラナ州(ブラジル)でIraíの第4地域のReboucas市でヒトでのH1N2変異インフルエンザウイルス感染例を報告している。4歳の女の子の症例で、両親は2020年11月16日、39歳の発熱、呼吸困難、鼻水及び頭痛の症状がある少女をダーシーバルガス病院に連れて行った。これは、今年その州で発見された2番目の症例で、最初の症例は、2020年4月にIbiporaの22歳の女性で確認され、すぐに回復した。現在、Sesa Paranaの健康監視の技術分野、州中央研究所、保健省、農業省及びFiocruzの専門家が、その症例の調査及び管理措置を明確に述べている。
9	インフルエンザ	WHOホームページ. https://www.who.int/csr/don/09-jul-2020-influenza-a-brazil/en/	ブラジルのパラナ州のブタの屠畜施設の勤務者にインフルエンザ様の症状が現れた。患者から得られた検体を調査したところ、H1N2変異型のインフルエンザウイルスが検出された。患者は入院加療なく回復した。
10	オルソポニヤウイルス検査陽性	Clin Infect Dis. 70(2020)2155-2160	近年、多くの新規ダニ媒介ウイルスがディープシーケンシング技術により発見されている。本研究では、中国において、発熱性疾患の患者(62歳女性)から、原因病原体と思われるオルソポニヤウイルスに属するTachengダニウイルス1(TcTV-1)が同定された。TcTV-1が患者の咽頭スワブ、尿等から採取されたことから、ヒトからヒトへの感染がおこる可能性があることが示された。また、従来の研究により、ウシ、ヒツジ等の家畜はダニの宿主となり、TcTV-1ウイルスの蔓延に寄与している可能性があることが示唆されている。
11	コロナウイルス感染	Viruses. 12(2020)183	ウシコロナウイルス(BCoV)は、人畜共通感染性があり、腸疾患及び呼吸器疾患を引き起こすことが知られている。これまでの研究では、多くの国々のウシにおいてBCoV感染症の有病率が高いことが報告されている。さらに、BCoV様ヒト腸内コロナウイルスが急性下痢症の小児から分離されたことが以前報告された。本研究結果から、BCoVは2つの主要なタイプに分化することが明らかになった。さらに、異なる遺伝子をもつBCoVが定期的に出現し、国内で広く蔓延していることが示唆された。
12	ダニ媒介ウイルス脳炎	Clinical Infectious Diseases. https://academic.oup.com/cid/advance-article/doi/10.1093/cid/ciaa738/5857602	ダニ曝露歴のない米国の腎移植患者が移植の3週後に脳炎を発症した。当該症例は、移植に備えて入院中に無症状の供血者からの輸血を受けたが、その供血者はポワッサンウイルスに感染していたことが後日判明した。本報告では、輸血感染した可能性のあるポワッサンウイルス感染例を記載している。
13	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Weekly Disease Information. 2020/05/22	アイルランドのウシ1頭において非定型の牛海綿状脳症H型が確認された。
14	ブドウ球菌感染	Applied and environmental microbiology. 86(2020)5 e01865-19	スイスの家畜におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の蔓延状況並びに家畜と接点のある獣医師及び農家におけるMRSAの発生状況を調査した。ブタから採取された検体のMRSAの遺伝子型はspa t011とt034に分類された。農家の検体から確認された遺伝子型spa t034は、ブタで確認された遺伝子型spa t034と密接に関連している可能性が示唆された。
15	レンサ球菌感染	ProMED-mail 20201127.7974095	2019年秋、インディアナ州において多くの雌ブタが死亡したと報告された。約1,000頭のブタの収容能力がある場所で1週間で約500頭が死亡した。実験室検査は繰り返され、ブタがレンサ球菌 <i>Streptococcus equi</i> 亜種 <i>zooepidemicus</i> で死んでいることを示した。これは、米国でのブタにおけるその病気の初めての診断であった。私たちはそれがイヌ、ウマ、ブタ、ウサギ及びヒトに影響を与えるのを見てきた。

ID	感染症(PT)	出典	概要
16	炭疽	ProMED-mail 20201020.7876654	2020年10月12日の週、ジンバブエのマニカランド州Chipingeにおいて、少なくとも2例が炭疽関連の症状で入院し、当局は緊急対策チームを派遣して現地の家畜にワクチンを接種するよう促した。
17	ウシ結核	PLoS Negl Trop Dis. 14(2020)e0008894	アルジェリア北部において、ヒト及びウシの結核を引き起こす <i>Mycobacterium tuberculosis complex</i> (MTBC) 遺伝子型の発生と多様性の調査が実施された。本研究にて、spoligotyping法を用いて、ヒト及びウシ由来のMTBC分離株の特性を評価した結果、アルジェリアでは3つのspoligotypeプロファイル (SB0120、SB121及びSB134) が優勢であることが判明した他、複数の新しい <i>Mycobacterium bovis</i> 型 (SB2695からSB2701) が同定された。
18	サルモネラ症	Outbreak NewsToday.http://outbreaknewstoday.com/canada-salmonella-outbreak-linked-to-pig-ear-dog-treats-32153/	カナダ公衆衛生庁は、ブリティッシュコロンビア州、アルバータ州及びユーコン準州でのサルモネラの発生に関する調査について報告している。2020年9月29日の時点で、サルモネラ ティフィウム感染症8例の確認事例があり、ブリティッシュコロンビア州(5例)、アルバータ州(2例)及びユーコン準州(1例)である。彼らは2020年2月下旬から8月上旬にかけて感染し、3例が入院し、1例が死亡した。これまでの調査結果に基づいて、イヌのおやつ(ブタの耳への曝露)が、その発生の原因として特定された。
19	サルモネラ症	ProMED-mail 20201204.7992447	ドライポークソーセージに関連したフランスでのサルモネラ菌の感染拡大で、合計7例が病院での治療を必要とした。合計31例のサルモネラ症の症例が、Pasteur研究所のSalmonella国立研究センターによって検出された。 <i>Salmonella enterica</i> 血清型 <i>Bovismorbificans</i> による病気は、主に少なくとも17例の子供を含む若者の病気に影響を及ぼした。フランス国立公衆衛生庁によると、ほぼすべての患者が、同じスーパーマーケットチェーンの複数の店舗で購入した1つのブランドのドライポークソーセージを食べていた。
20	ブルセラ症	CDC MMWR. 69(2020)482-483	米国ペンシルベニア州で、2017年及び2018年に生乳(未殺菌乳)摂取に起因するウシ流産菌への感染(ブルセラ菌RB51株検出)が発生した。
21	レプトスピラ症	Zoonoses and Public Health. 67(2020)156-166	台湾の疾病管理センターから入手したレプトスピラ症例について、確認されたレプトスピラ症例とブタの分布をマッピングし、Q熱、ツツガムシ病及びネズミチフスのデータベースとの交差適合試験を実施し、重感染の可能性を特定した。また、ブタと接触歴のあるヒトにおけるレプトスピラ症例についても報告された。
22	旋毛虫症	Outbreak NewsToday.http://outbreaknewstoday.com/argentina-12-trichinosis-cases-reported-in-cordoba-56451/	コルドバ州(アルゼンチン)保健省は、州の2つの町で旋毛虫症の12例を報告し、原産地が疑わしいブタ肉及び相応の衛生検査を受けていないブタ肉の消費及び購入の危険性について警告を発している。El Tioの町では11例が報告され、その感染源は、自家製のブタ肉製品の消費であることが確認されている。残りの1例は、Santa Anaに居住しており、前述の症例とは無関係であり、感染源は、まだ調査中である。重い感染症では、心臓、呼吸器及び神経の問題が起こり、心不全で死亡する可能性がある。摂取する幼虫が多いほど、病気は深刻になる。
23	テニア症	ProMED-mail 20201003.7830375	かつてアフリカ、アジア及びラテンアメリカの発展途上国に限定されていた寄生虫症が、海外渡航歴のないメルボルン州(オーストラリア)の女性で発生した。この25歳の女性は、「視覚的前兆」とかすみ目を伴う片頭痛が6日間続いた後、脳に嚢胞があることが判明した。彼女は、脳卒中、頭痛、失明、髄膜炎、認知症等の症状を引き起こす深刻な病気である神経嚢虫症(NCC)と診断され、病変を取り除くために脳外科手術を受けなければならなかった。これはオーストラリアで最初に記録されたNCCの原発(自己発生)症例であると報告書で述べている。